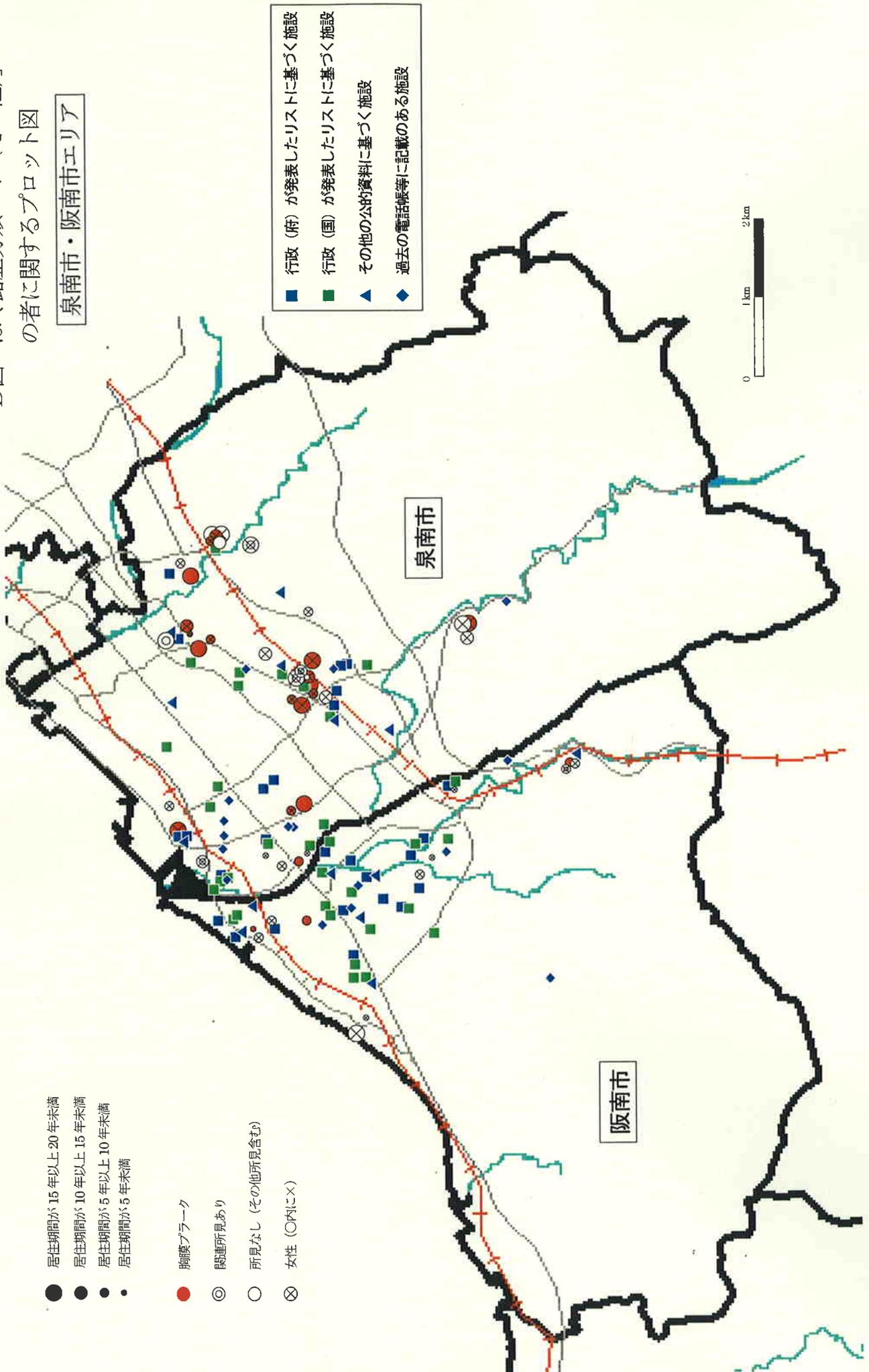


D図 ばく露歴分類「オ（その他）」の者に関するプロット図

泉南市・阪南市エリア

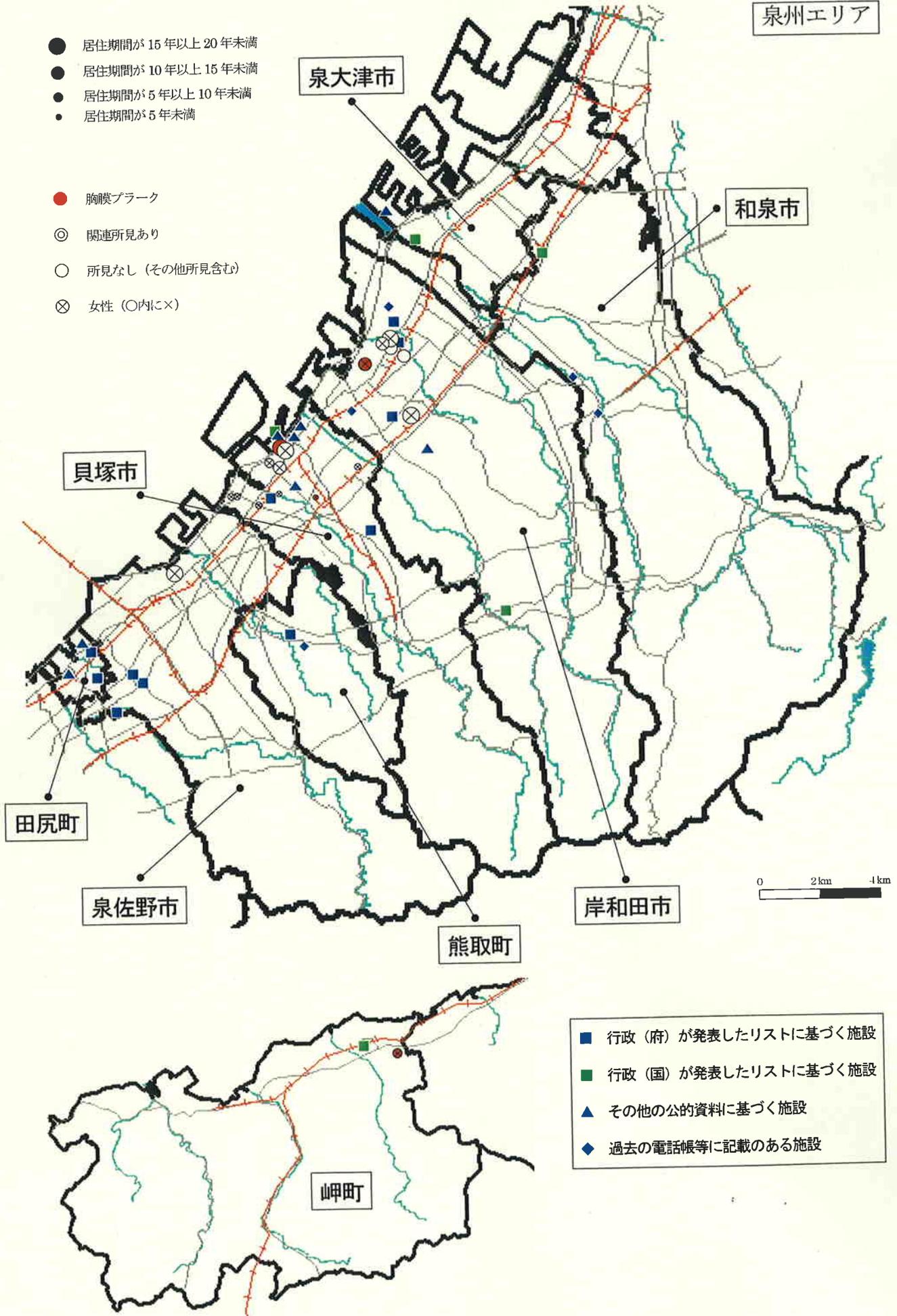


D図 ばく露歴分類「オ（その他）」の者に関するプロット図

泉州エリア

- 居住期間が15年以上20年未満
- 居住期間が10年以上15年未満
- 居住期間が5年以上10年未満
- 居住期間が5年未満

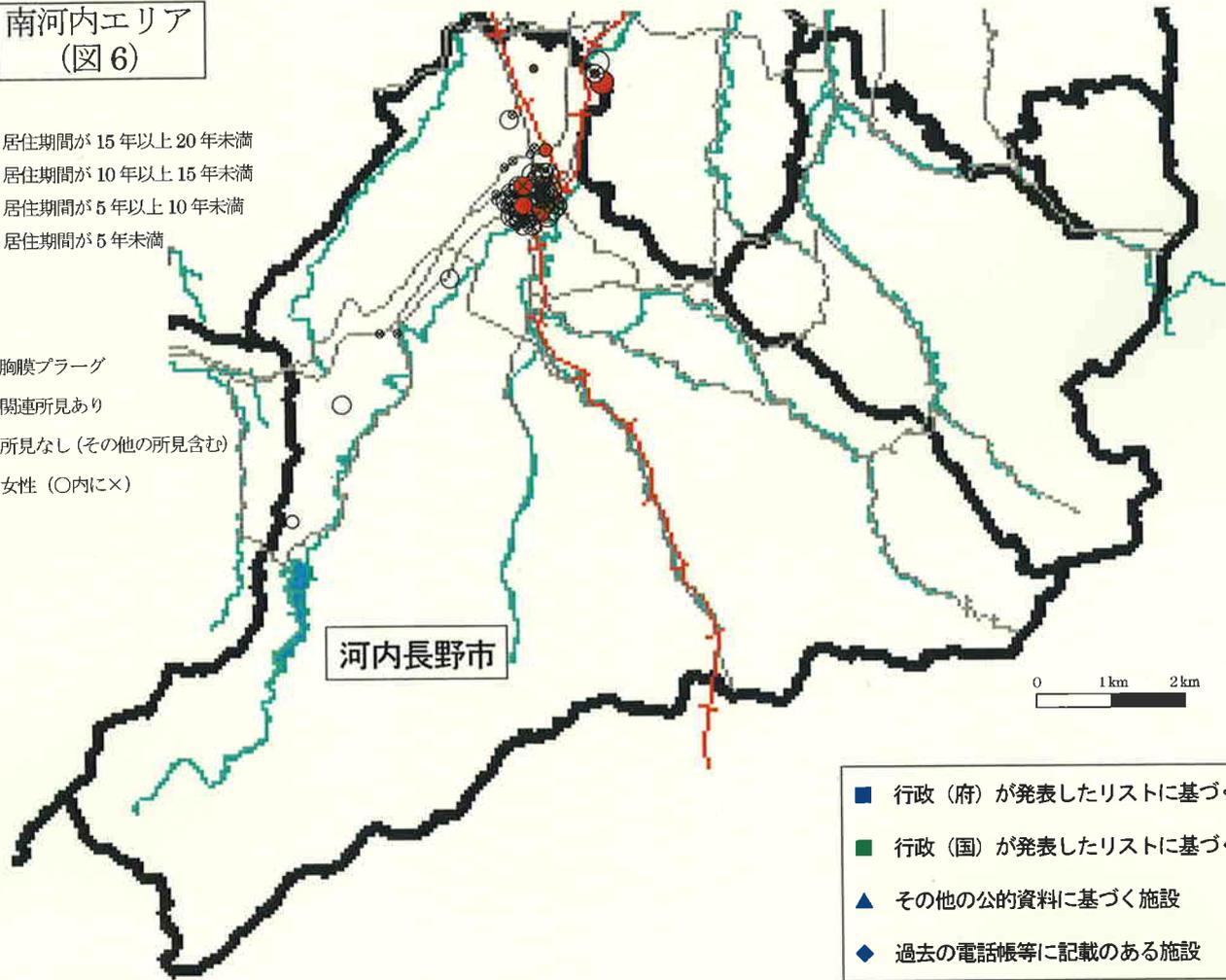
- 胸膜ブランク
- ◎ 関連所見あり
- 所見なし（他所所見含む）
- ⊗ 女性（○内に×）



南河内エリア
(図6)

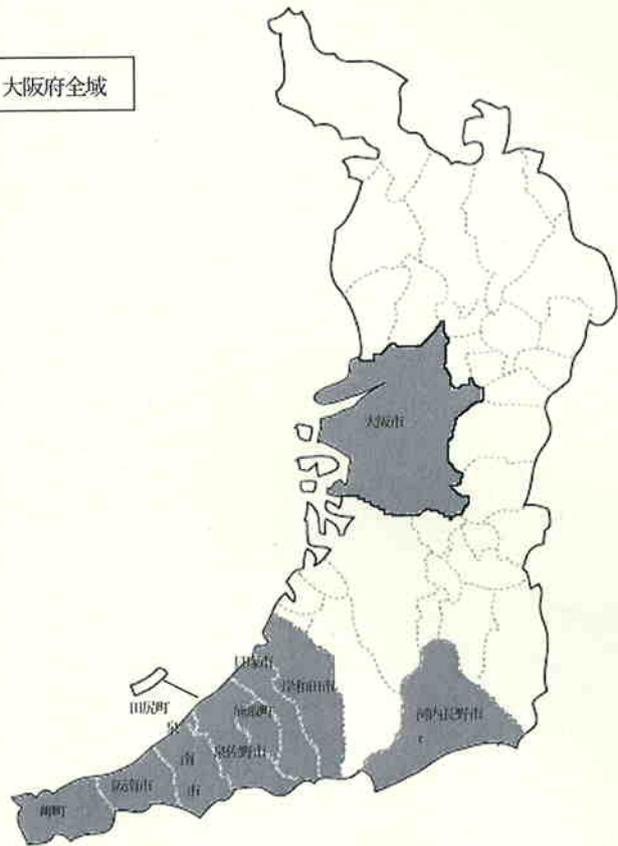
- 居住期間が15年以上20年未満
- 居住期間が10年以上15年未満
- 居住期間が5年以上10年未満
- 居住期間が5年未満

- 胸膜プラーグ
- ◎ 関連所見あり
- 所見なし(その他の所見含む)
- ⊗ 女性(○内に×)



- 行政(府)が発表したリストに基づく施設
- 行政(国)が発表したリストに基づく施設
- ▲ その他の公的資料に基づく施設
- ◆ 過去の電話帳等に記載のある施設

大阪府全域



石綿の健康リスク調査に参加し、医療の必要があると判断された者の診断経過について

平成19年度以前の石綿の健康リスク調査に参加し、医療の必要があると判断された者がその後、医療機関でどのような診断を受けているのか確認するため、本人から承諾を得て医療機関に照会を行った。

照会を行った結果、肺がん6人、石綿肺3人、びまん性胸膜肥厚2人と医療機関で診断され、中皮腫および良性石綿胸水と診断された者はなかった。

このうち、石綿救済制度で認定された者は確認できなかったが、労災制度で認定された者が石綿肺で2人、びまん性胸膜肥厚で2人であったことが確認された。

平成19年度に健康リスク調査へ参加し、医療の必要があると判断された者のその後の診断経過

	計	うち 女性	ア主に 直接職 歴	うち 女性	イ主に 間接職 歴	うち 女性	ウ主に 家庭内 ばく露	うち 女性	エ主に 立入・屋 内環境 ばく露	うち 女性	オ.その 他	うち 女性
対象者	11	6	7	3	1	1	0	0	1	1	2	1
石綿関連疾患(疑いを含む)	5(1)	3(1)	4(1)	2(1)	1	1	0	0	0	0	0	0
a 中皮腫	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
b 肺がん	3(1)	1(1)	3(1)	1(1)	0	0	0	0	0	0	0	0
c 石綿肺	2	2	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0
d 良性石綿胸水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
e びまん性胸膜肥厚	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※()は、疾患疑いを再掲

※肺がんについては、石綿以外の原因によるものも含まれている。

平成18年度に健康リスク調査へ参加し、医療の必要があると判断された者のその後の診断経過

	計	うち 女性	ア主に 直接職 歴	うち 女性	イ主に 間接職 歴	うち 女性	ウ主に 家庭内 ばく露	うち 女性	エ主に 立入・屋 内環境 ばく露	うち 女性	オ.その 他	うち 女性
対象者	10	3	7	2	2	0	0	0	0	0	1	1
石綿関連疾患(疑いを含む)	6	1	4	1	2	0	0	0	0	0	0	0
a 中皮腫	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
b 肺がん	3	1	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0
c 石綿肺	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
d 良性石綿胸水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
e びまん性胸膜肥厚	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※()は、疾患疑いを再掲

※肺がんについては、石綿以外の原因によるものも含まれている。

4. 考察

上記調査の結果、次のことが確認された。

- 調査協力者 458 名のうち石綿ばく露に関連する可能性がある医学的所見のある者が 152 名 (33.2%) いた。そのうち胸膜プラークのある者が 129 名 (84.9%)、リンパ節の腫大がある者が 46 名 (30.3%) いた。
- 石綿関連による医学的所見が見られた調査協力者 152 名のうち、石綿に関わる何らかの職業歴や家庭内ばく露歴等のある者が 127 名 (82.9%) おり、具体的なばく露歴が特定されない者も 26 名 (17.1%) いた。
- 具体的なばく露歴の特定されない者のうち、石綿関連による医学的所見で多い順に、胸膜プラークが 19 例 (73.1%)、肺野の腫瘤状陰影が 5 例 (19.2%)、リンパ節の腫大が 5 例 (19.2%) であった。
- 胸水貯留、胸膜プラーク、びまん性胸膜肥厚、胸膜下曲線様陰影、肺野間質影の所見が見られた者 152 例を年齢階層別に見ると 60 歳以上の者が 120 例 (78.9%) いた。
- ばく露の可能性が特定されない者 26 名中の全員が居住地近傍に石綿取扱い施設があったとしている。
- 胸水貯留が認められた 2 名は、いずれも具体的なばく露歴の特定されない者であった。
- 具体的なばく露歴の特定されない者 142 名のうち、昭和 30 年～50 年の泉南地域及び河内長野市の居住が特定できた 128 名について、その居住歴を地図上にプロットしたところ、165 プロットになった。
- プロット対象者 128 名のうち、河内長野市が 73 名 (57.0%)、泉南市が 33 名 (25.8%) であった。
- リスク調査対象者のうち前回受診ありの者 387 人中、不変 364 人、新所見 15 人、増悪 8 人となっている。
- 平成 20 年度に新たにリスク調査を受診した者が 71 名、平成 18 年度に受診し平成 19 年度に受診せず今年度受診した者が 18 名いた。

5. 今後の予定

次年度においても、2. 調査内容(エ)に示したとおり、継続調査を実施する。

6. 参考資料

- ・ 問診票
- ・ 大阪府アスベスト健康対策専門家会議委員一覧
- ・ 石綿健康影響観察ノート（別紙）



石綿の健康影響の評価調査のための検診問診票

受付番号 _____

ID番号 _____

※太枠のみ記入してください。

フリガナ				明・大・昭・平
氏名		男・女	生年月日	年 月 日生 歳
現住所	〒 - -	住所コード		電話番号
検診日	平成 年 月 日	団体名		団体使用欄1
検診番号	-	団体コード		団体使用欄2

※太枠のみ記入してください。(裏面にもあります。)

1. この健康リスク調査を受ける理由はなんですか。(○をつけてください。 (1) 自分または家族が石綿を扱う仕事をしていた。 (2) 石綿を扱う場所の近くに住んでいた。 (3) 仕事以外で、身の回りにおいて石綿(製品、材料など)を扱うことがあった。 (4) その他(○をつけた場合、追加質問に記入願います。
2. あなたのこれまでの居住歴について、2枚目「居住歴」欄に記入してください。	
3. 本人の現在までの通学歴・職歴及び石綿を扱っていたご家族の現在までの職歴を別紙調査票の「①本人の通学歴、②本人の職歴、③家族の職歴」欄に記入してください。	
4. 仕事以外で石綿を吸い込んだ可能性はありますか。(□にチェックをお願いします) □ ある(その場所とその時の状況)) □ なし □ わからない	
5. 現在までに、肺の病気にかかったことがありますか。(□にチェックをお願いします) □ ある() □ なし	「ある」にチェックした場合、保健師が次頁以降の追加質問に記入願います。
6. 現在、何か症状がありますか。(□にチェックをお願いします) □ ある: 発熱・せき・呼吸困難・胸痛・その他() □ なし	
7. 家族で石綿関連疾患にかかった人はいますか。(□にチェックをお願いします) □ ある:(続柄) 中皮腫・肺がん・石綿肺・その他() □ なし	
8. 喫煙の有無 (□にチェックをお願いします) □ 現在も吸っている 1日平均 本 年間(通算 本) □ 過去に吸っていた 1日平均 本 年間 止めた時期 年前(通算 本) □ 普段は吸わないが、稀に吸うことがある(どんな時:) □ 吸ったことがない	
9. これまでの胸部X線検査受診の有無	1. 無 2. 有: 時期(年 月ごろ)・医療機関名() 結果:
10. これまでの胸部CT検査受診の有無	1. 無 2. 有: 時期(年 月ごろ)・医療機関名() 結果:
11. その他石綿ばく露があったと思われる時の周辺環境など、わかっていることがあれば、記入してください。	
	領収印
	問診者

* 職歴に関するチェック項目（記入不要）

【①業種】

1 鉱業

- 11 石綿鉱業
12 その他の鉱業

2 建設業

- 21 石綿含有製品を取り扱う作業
22 石綿含有製品の近傍で行うその他の作業
23 その他の作業

3 製造業

- 30 石綿製品製造業
31 清酒製造業
32 化学工業
33 石油製品・石炭製品製造業
34 窯業・土石製品製造業
341 ガラス・同製品製造業
342 セメント・同製品製造業
343 建設用粘土製品製造業（陶磁器製を除く）
344 陶磁器・同関連製品製造業
35 鉄鋼業
36 非鉄金属製造業
（銅・アルミニウム・鉛などの板・合金などを製造）
37 金属製品製造業
38 一般・輸送用機械器具製造業
39 造船業
3a 食料品製造業
3b 繊維工業
3c その他の製造業

4 電気・ガス・熱供給・水道業

- 41 配管・配線取扱い業
42 電気業
43 ガス供給業
44 熱供給業
45 水道業
5 運輸業
51 鉄道業
52 道路貨物運送業
53 水運業
54 倉庫業
55 運輸に附帯するサービス業

6 医療、福祉

- 61 医療業

7 サービス業

- 71 廃棄物処理業
72 自動車整備業
73 機械等修理業
74 その他の事業サービス業

8 解体業

9 その他（具体的に：

- a 不明
b なし

【②仕事内容】

- 1 石綿鉱山での作業、石綿製品の製造に関わる作業
3 石綿原綿または石綿製品の運搬・倉庫内作業

- 4 配管・断熱・保温・ボイラー・築炉関連作業

- 5 造船所内の作業（造船所における事務職を含めた全職種）
7 建築現場の作業（建築現場における事務職を含めた全業種）
9 港湾での荷役作業
11 鉄鋼所または鉄鋼製品製造に関わる作業

- 13 自動車・鉄道車両等を製造・整備・修理・解体する作業

- 15 ガラス製品製造に関わる作業
17 清掃工場・廃棄物の収集・運搬・中間処理・処分の作業
19 レンガ・陶磁器・セメント製品製造に関わる作業

- 20 吹き付け石綿のある部屋・建物・倉庫等での作業（教員 その他）

- 21 エレベーター製造または保守に関わる作業
23 ガスマスクの製造に関わる作業
25 ゴム・タイヤの製造に関わる作業

- 27 映画放送舞台に関わる作業
29 酒類製造に関わる作業
31 歯科技工に関わる作業

- 33 その他の石綿に関連する作業（
34 タルク等石綿含有物を使用する作業
35 いずれもない

【③仕事で取り扱った材料・製品】

- 1 石綿原綿（わた・繊維）

- 4 石綿保温材・煙突材

- 7 石綿セメント管・石綿パイプ

- 9 石綿パッキング・ガスケット

- 11 石綿含有塗料、石綿含有シーリング材、石綿含有接着剤

- 12 石綿含有摩擦材（ブレーキパッドなど）

- 14 いずれもない

- 2 石綿吹き付け材

- 5 石綿含有屋根材、スレート

- 8 石綿含有ボード（外壁材・内装材）

- 10 石綿織物・布・ひも・ロープ・テープ・リボンなど

- 13 その他の石綿製品（

- 15 わからない

- 2 石綿や石綿含有岩綿の吹き付け・貼り付け等作業

- 6 船に乗り込んで行う作業（船員 その他）

- 8 解体作業（建築物、構造物、石綿含有製品等）

- 10 発電所・変電所での作業

- 12 耐熱（耐火）服や耐火手袋等を使用した作業

- 14 自動車・トラック・鉄道等の運行に関わる作業

- 16 石油精製工場、化学工場内の精製・製造や配管修理等の作業

- 18 電気製品・産業用機械の製造・修理に関わる作業

- 22 ランドリー・クリーニングに関わる作業

- 24 上下水道に関わる作業

- 26 道路建設・補修等に関わる作業

- 28 農業

- 30 消防に関する作業

- 32 金庫の製造・解体に関わる作業

- 36 不明（忘れた・覚えていない）



石綿の健康影響の評価調査のための検診問診票

受付番号 _____

ID番号 _____

※太枠のみ記入してください。記入要領は裏面をご覧ください。

フリガナ		男・女	生年月日	明・大・昭・平
氏名				年 月 日生 歳
現住所	〒 -	住所コード		電話番号

検診日	平成 年 月 日	団体名		団体使用欄1	
検診番号	-	団体コード		団体使用欄2	
検診番号	-				

その後の経過	
1. 前回の本健康リスク調査受診以後現在まで、何か気になること、又は新しい症状などありましたか。 <input type="checkbox"/> あった (その内容は何ですか。)() <input type="checkbox"/> なかった	
2. 現在、何か症状がありますか。(□にチェックをお願いします) <input type="checkbox"/> ある：発熱・せき・呼吸困難・胸痛・その他() <input type="checkbox"/> なし	
3. 家族で新たに石綿関連疾患(中皮腫、肺がんなど)を発病した人はいますか。 <input type="checkbox"/> いる (その病名は何ですか。いつ頃ですか。)() <input type="checkbox"/> いない	
特記事項 (CT検査、通院、疾病の有無等をご記入願います。)	
	問診者
	医師

大阪府アスベスト健康対策専門家会議委員一覧

平成 21 年 3 月 31 日現在

役 職	氏 名
大阪府立公衆衛生研究所 所長	織田 肇
大阪府泉佐野保健所 所長	北内 京子
地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター 院長	楠 洋子
独立行政法人国立病院機構 近畿中央胸部疾患センター 院長	坂谷 光則
社団法人大阪府医師会 理事	武田 温裕
地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪府立成人病センター 調査部長	津熊 秀明
独立行政法人国立病院機構 刀根山病院 副院長	前倉 亮治
独立行政法人労働者健康福祉機構 大阪労災病院 院長	山田 義夫

*50 音順、敬称略